

第69号

編集部 真玉編集部
 発行所 川崎市立川崎高等学校同窓会
 〒210-0806 川崎市川崎区中島3-3-1
 責任者 中島 光枝
 印刷所 小島 杉

真玉



同窓会員の皆様におかれましては、ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。日頃より同窓会活動にご支援・ご協力を賜り感謝申し上げます。

一昨年から世界的不安な世の中ですが、まさかこれほど長い間新型コロナウイルス感染症が続くとは思いませんでした。しかし、様々な工夫と努力により今迄と違う対応で

三年ぶりの総会を開催します

オミクロン株の状況により中止もあり

—同窓会ホームページで確認を—

会員の皆様、先生方、お元気でお過ごしでしょうか。令和四年度同窓会総会のご案内を申し上げます。二〇一九年十二月に中国から始まった新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい二〇二〇年冬に第三波、そして昨年夏には第五波が

列島を襲い、八月には一日の都内感染者数が六千人に迫る勢いとなりました。しかしオミクロン株がもたらした影響は減り続け、令和三年十一月一日現在の都内感染者は三十人を下回る日が続く結果、十二月六日の役員会で令和四年度同窓会総会

の開催を決定いたしました。しかし、年明け早々新しくオミクロン株がもたらした影響は減り続け、令和三年十一月一日現在の都内感染者は三十人を下回る日が続く結果、十二月六日の役員会で令和四年度同窓会総会

は、同窓会のホームページで必ずご確認いただきますようお願いいたします。川崎ダイスビル六階 中国料理 煌蘭 電話 〇四四 (二四五)〇〇一八 懇親会参加費 四千円 ただし令和三年卒と四年三月の卒業生は千五百円



過去の懇親会の様子

総会・懇親会のご案内

場所 川崎駅東口 ダイスビル6階

中国料理「煌蘭」

日時 4月29日(金・祝)

総会 12時00分～12時30分

懇親会 12時40分～14時40分

同窓会の歩み

同窓会という組織は、昭和六年の同窓大会で「真玉会」として成立しました。それ以前の卒業生は川崎高等女学校校友会という組織の一部でした。昭和三年(十年)には会誌「和光」が発行されています。

昭和十一年三月には真玉会独立機関誌「真玉」が発行されました。「真玉」には真玉会の報告・同窓生の寄稿文・同期会だより・音楽・同窓会という組織は、昭和六年の同窓大会で「真玉会」として成立しました。それ以前の卒業生は川崎高等女学校校友会という組織の一部でした。昭和三年(十年)には会誌「和光」が発行されています。

昭和十一年三月には真玉会独立機関誌「真玉」が発行されました。「真玉」には真玉会の報告・同窓生の寄稿文・同期会だより・音楽・同窓会という組織は、昭和六年の同窓大会で「真玉会」として成立しました。それ以前の卒業生は川崎高等女学校校友会という組織の一部でした。昭和三年(十年)には会誌「和光」が発行されています。

昭和十一年三月には真玉会独立機関誌「真玉」が発行されました。「真玉」には真玉会の報告・同窓生の寄稿文・同期会だより・音楽・同窓会という組織は、昭和六年の同窓大会で「真玉会」として成立しました。それ以前の卒業生は川崎高等女学校校友会という組織の一部でした。昭和三年(十年)には会誌「和光」が発行されています。

昭和十一年三月には真玉会独立機関誌「真玉」が発行されました。「真玉」には真玉会の報告・同窓生の寄稿文・同期会だより・音楽・同窓会という組織は、昭和六年の同窓大会で「真玉会」として成立しました。それ以前の卒業生は川崎高等女学校校友会という組織の一部でした。昭和三年(十年)には会誌「和光」が発行されています。



昭和10年以降の「真玉」機関誌

会費は本紙同封の振込用紙(寄付金振込用紙と兼用)にて、郵便局より三月末日迄にお振込みをお願いいたします。なお、当日の受付も出来ますので、お気軽にお越しください。

議題
 令和三年度 事業報告
 令和三年度 会計報告
 令和三年度 会計監査報告
 令和四年度 役員改選
 令和四年度 事業計画案
 令和四年度 会計予算案
 その他
 懇親会
 総会終了後には懇親会が開かれます。



総会でお会いしましょう

急募!! 同窓会役員

皆様のお力をお貸しください

同窓会は卒業生の親睦を目的に4月29日の定期総会と同窓生の活動や在校生・学校の様子を届けるための新聞「真玉」の発行を主な目的に活動しています。しかし、その同窓会役員は高齢化しており、70・80代の役員が大半を占めています。このままでは数年以内には同窓会新聞「真玉」は無期限休刊や廃刊に。現在、役員会へ常時出席出来ている60代以下の役員は3名程度しかいないのが現状です。伝統ある川高同窓会は存亡の機に立たされています。会員の皆様のご協力を必要としています。年齢は問いません。やる気と意気込みのある方なら大歓迎です。

役員会を4月に総会を含め3回程度、6～12月に2～3回。1～2月は真玉編集会議のため4～6回程度の集まりがあります。時間は18:00から2～3時間(食事時間を含む)程度です。

ご協力いただける方はFAX(044-211-8295)又は手紙(送り先は封筒の表に表記)にてご連絡ください。後日、事務局よりご連絡を差し上げます。

昭和二十四年四月の同窓会総会で、全卒業生の中から昭和三年卒の初代会長青木美津枝校長が選出されました。そして昭和二十七年五月に、川崎実科高等学校・川崎高等女学校・川崎高等学校の卒業生をもって新たに「川崎市立川崎高等

いと、平成十一年に神無祭に同窓会が展示参加することになりました。川女・川高の文集・卒業アルバムや資料等を展示しました。卒業生の手芸等の作品が展示されました。十六年からワイークショップとして折紙教室、二十一年から紙ひもを使った「カゴ」の制作教室を始め現在に至っています。(新型コロナウイルス感染症のため令和二・三年は中止)



同窓会室入口横の資料展示コーナー

平成二十三年五月には母校創立百周年を記念し、四部合唱の校歌がプロ歌手の古渡智江さんによりCD化され、また、その頃に同窓会名簿も発行されました。二十六年には新校舎が完成し、同窓会室が新設されました。

昭和三十一年、第五代会長に田中威会長(三十一年卒)が選出されました。十五年には「真玉」五十号が発行され、記念行事として奥平哲也さん(五十三卒)のマリンパフォーマンスが総会の懇親会で行

一面担当 中島 光枝
 友澤 瑞恵

皆で元気にコロナに負けるな

昭和二十七年卒 江守 千恵子

四十三年働いて定年退職をしたあと、川崎保健所主催の健康増進講座を受けました。その中でいろいろなボランティア活動があることを知りました。



その頃、古い家が空き家になっていたので、そこを利用して地域のひとと楽しい時間をともにしながら健康になっていくような活動ができればいいなと思うようになりました。

健康増進教室の同期生、社交ダンスを一緒に楽しんでいたグループなどに声をかけて、その古い家に集まってもらいました。「お金はないけれど、ここで良ければ場所だけは提供するので、私たちの元気をまわりの人に広げる活動をしていけたら」と話しました。

は、毎回参加はできないが、大きな車があるの物を運ぶことなどはできることか、仕立物は引き受けること、それを活かせること、協力してくれると、申し出てくれました。

「近頃のマンションで引っ越しがあったので、テーブルやいすをもらってあるのを出してあげようか。」「お揃いのエプロンは私が仕立てる」などのありがたい申し出が続きました。

市の清掃局に行き、町会にも捨てる前に声をかけて頼みました。名前も江守さんの家を使うんだからと、「江守さん家」ときまわり、社協に登録してスタートしました。

平成十四年四月一日、地域の社協関係の方においでいただき発表会を行いました。運動指導士の指導を受けていた人が多かったため、日常の活動は運動を中心

に、小物作り、折り紙、吊し雛作りなどの工作。花王石けん、味の素、森永製菓キリンビールなどの工場見学、市民ミュージアムなどの施設見学。花見、宿場歩きなどの外出。

愛泉ホーム・ふれあい館の協力を得て、キムチ漬け教室や地域の行事にも参加しました。三年経った頃、栄養面が足りない気がつき、「華やき会」を立ちあげ、全員で朝から集まり、前回は調理師の献立に従って調理する料理作りも始めました。

川崎に来て良かった

昭和三十七年卒 守屋 正子



私は今年で喜寿になりました。現役の美容師をしています。高校を卒業後に、東京にあるマールリス美容学校を卒業し、インターンを経て一九六四年の東京オリピックの年に美容師の国家資格を取りました。

美容師として働き始めは無我夢中で何のことも考えなかったのですが、次第に知れば知るほど面白くなり、仕事の深みにはまってしまい、今は楽しい苦労と思っています。

川崎に来て、どうしても川崎高校に入学したいと希望したことを覚えていています。入学してから「食物部」に入りましたが、運動部にも入りたくてバスケット部・卓球部などに入りま

した。先輩は優しく親切に接してくれましたが、私はセンスがなさすぎてすぐにアウトし、食物部で三年間楽しみました。文化祭で、私たちの手作

り、小物作り、折り紙、吊し雛作りなどの工作。花王石けん、味の素、森永製菓キリンビールなどの工場見学、市民ミュージアムなどの施設見学。花見、宿場歩きなどの外出。

愛泉ホーム・ふれあい館の協力を得て、キムチ漬け教室や地域の行事にも参加しました。三年経った頃、栄養面が足りない気がつき、「華やき会」を立ちあげ、全員で朝から集まり、前回は調理師の献立に従って調理する料理作りも始めました。

はじめに考えていた子どもにかかわる活動には手がつきませんでした。イベントの音楽会や手品などにはおじいちゃん・おばあちゃんと一緒に楽しんでもらって、川高の文化祭にも出品しました。

その他に日頃活動している音楽グループや手品のグループなどにもお願いしてイベントを開いたり、楽しいこと、勉強になることなど、皆の希望をできるだけとりにこむようにしました。特別講座で講師の襟つけ・浴衣の着つけからはじめて二重鼓までの着つけを覚えてもらったこともありました。

運動指導士の指導を受けていた人が多かったため、日常の活動は運動を中心とした。川高に来て、どうしても川崎高校に入学したいと希望したことを覚えていています。入学してから「食物部」に入りましたが、運動部にも入りたくてバスケット部・卓球部などに入り

三年A組の友情

昭和五十年卒 城戸せつ子(鈴木)

私は四十七年間クラス会の幹事をしています。同級生の協力と担任の八木先生と大石先生のご指導のおかげと感謝を言っています。

一人の都府で住所不明の級友も含め、三年間の勉強に励み、共に歩んだ青春時代は今も私の心に輝いて

います。本年一月三日、私は年賀状で級長の住所変更が判明し、一日中グループの一人一人に電話をして尋ねました。次の日、級長より電話があり話ができました。安否確認でホッとしました。

今年度より、同窓会の顧問をさせていただくことになりました。矢敷敦史先生にお願いいたします。

今年度より、同窓会の顧問をさせていただくことになりました。矢敷敦史先生にお願いいたします。

今年度より、同窓会の顧問をさせていただくことになりました。矢敷敦史先生にお願いいたします。

着物文化活動

昭和三十九年卒 尾崎弘子(後藤)

自分たちの着付け技術や知識を子供たちの生涯教育として、何かお手伝いしたいという親の気持ちが、川崎市教育委員会・川崎市文化協会のご支援を頂きながら、早いもので「きもの文化活動：歴史への招待」が、四十一年目を迎えます。

一昨年はオンラインピックを盛り上げるイベントとして認定され参加者全員思い出深いものとなりました。少し紹介いたします。

一部は、平成十六年より続く、可愛い小学生が体験発表する川崎市で育てた古代よりある「紅花栽培」紅

善協会」が発足されるきっかけとなりました。四部は、子供たちに鑑賞させた芸術、芸術鑑賞。特に平成二十八年に行われた三十五回「島根県指定無形民俗文化財」益田市の益田系操り人形は川崎市の初公演となりました。石川敏廣先生の強力なご支援で、中原市民館の舞台作りに

今年度より、同窓会の顧問をさせていただくことになりました。矢敷敦史先生にお願いいたします。

今年度より、同窓会の顧問をさせていただくことになりました。矢敷敦史先生にお願いいたします。

今年度より、同窓会の顧問をさせていただくことになりました。矢敷敦史先生にお願いいたします。

今年度より、同窓会の顧問をさせていただくことになりました。矢敷敦史先生にお願いいたします。

川崎大師駅 大師公園を散策

いつも通りすがりに気になっている場所があります。川崎大師表参道にある小さなお堂です。

調べるみると名は馬頭観音です。昔、村人は引く力の強い馬が、格子に手綱一本で繋ぎ止められたことか、縁結びで利益があるから、赤い布に想う人の名を書くと評判です。

そのまま、真っ直ぐ行くので、きれいで大きな柳が、お寺があります。名も知らないお寺です。

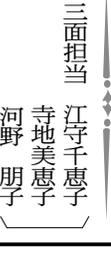
真つ直ぐ、大師公園を抜けて藩秀園に出ました。中国庭園藩秀園は、中国

く收藏されているお寺(明長寺)でした。そのまま参道を右に曲がって

藩陽と川崎市との姉妹都市提携五周年を記念して昭和六十二年に大師公園内に開

設した中国自然山水庭園です。「藩陽のすばらしい景色を集めた庭園」という意味です。建物に使用されている琉璃瓦、木組、獅子像、大湖石は藩陽市から寄贈されたものです。池の周りは回廊になっていて、ゆつくり、のんびり一周、癒やされます。四季折々に変化に富む、この庭園をゆつくりお楽しみ下さい。元気で楽しく健康づくりのきっかけとなれば幸いです。

(参考資料)NPO法人川崎歴史方イド協会「大師道めぐり」



三面担当 江守千恵子 寺地美恵子 河野 朋子

令和二年・三年度 ご寄付をいただいた方

令和二年・三年度特別会費(寄付金)をご寄付いただいた方々の芳名を公表させていただきます。謝の意を表し領収にかえさせていただきます。ありがとうございました。敬称略順不同(旧姓)

- ◎令和二年・令和三年度 寄付金
- 令和三年一月十一日迄
- 令和四年一月十日迄
- 総額 百二十二件
- 六十二万五千三百八十円
- 旧職員 阿部 敏・安田 三三子・藤野 博五郎
- 三子子・藤野 博五郎
- 穂積啓子・松本芳弘・坪田 四郎・赤地靖男・高橋久美子
- 三子子 吉野謙二
- 昭和十一年卒 石原三千代
- 一万円 青柳(繁山)弘子
- 様ご逝去に伴いご家族様より
- 三子子
- 昭和十三年卒 西島文子様
- ご逝去に伴いご家族様より
- 一万円
- 昭和十五年卒 荒井(吉田) スミ様ご逝去に伴い高山礼子様より五千元
- 昭和十六年卒 佐久間もと
- 様ご逝去に伴い洋一様より
- 三子子
- 昭和十七年卒 千葉(中山) 光世二万円 楠(小林)昌四千元
- 昭和二十年卒 松岡(唐沢) 恵美子様ご逝去に伴い博昭様より三千元 神奈川(武山) 君江五千元 荒賀(三郎) 敏子二千元
- 昭和二十一年卒 武石(鹿野) 展代五千元 小磯(杉崎) ヒサ子・柳田(田中) 久江三千元
- 昭和二十二年卒 福田(中川) 伊都子様ご逝去に伴いご家族様より二千元
- 昭和二十四年卒 小川(茂木) 澄子様ご逝去に伴いご家族様より一万円 西川(田代) 美代三万円 飯田 敦子・大見川(川神) 登子五千元 八木(小島) 啓子一千元
- 昭和二十六年卒 岩沢(金子) 栄子五千元
- 昭和二十七年卒 伊藤(三科) 玲子五千元
- 昭和二十九年卒 佐野(小川) 弘子一万円 小塚(宮田) サカ子・小野寺(藤田) 則子五千元
- 昭和三十年卒 南端(沼澤) 昭和三十年卒 竹内義雄三千元
- 昭和三十一年卒 井出澄子
- 昭和三十一年卒 成瀬(高久) 恵美子一万円 牧野(太田) 惇子五千元
- 昭和三十三年卒 澁谷(一夫) 一万円 森(森) 美恵子
- 昭和三十四年卒 平林もと子一万円
- 昭和三十五年卒 松本(新野) 洋子三千元 武藤満子
- 子・田辺実一千元
- 昭和三十六年卒 岡田(村上) 昌子・田畑(加藤) 喜久江・前田好子・中川トモ子三千元
- 昭和三十七年卒 笹沼眺一・矢萩(奥山) なよ美五千元 矢島(松原) ミチ子・津田信之三千元 佐藤(加藤) 雪江二千元
- 昭和三十八年卒 越野裕子一万円 寺地(高梨) 美恵子・原田米三三千元 胡麻田(綱木) 弘子三千元
- 昭和三十九年卒 斉藤(村松) 順子一万円 清水(中村) 紀江・吉田(井上) 澄子・岩崎光雄三千元
- 昭和四十年卒 中島(早川) 光枝一万円 松本進康五千元 山田(飯野) 美恵子三千元
- 昭和四十一年卒 山本恭介・遠藤(稀沼) 陽子・戸井田芳・北野(柴田) 直子
- 石田(石原) 利恵子・匿名
- 一万円 神林(小俣) 憲子五千元
- 昭和四十二年卒 岡地(中谷) サチ子一万円 水野(神谷) 路子・川村(赤岡) 朋子・佐藤(菅原) 文子三千元 伊藤(井上) 節子二千元 宮里(岡嶋) 照美一千元
- 昭和四十三年卒 井上(佐渡) 光枝・石川芳久五千元
- 昭和四十四年卒 斎藤明夫(関) 洋子・小林(鈴木) 美砂子三千元
- 昭和四十五年卒 石渡盛男・鈴木(内藤) さち子・三輪鳥次・由美子・山田秋子
- 一万円 門ノ沢俊幸
- 明三千元 大山(杉本) 幸子二千元 菊池(松尾) 満子一千元
- 昭和四十六年卒 天池領
- 昭和四十七年卒 木所(田邊) 京子五千元 細川(上妻) 初枝・富塚(田辺) 恵子
- 須藤(横山) 和子三千元
- 昭和四十九年卒 斎藤雅之様ご逝去に伴い姉川島様より五千元 翁長(桜井) 登志子・齋藤岳士三千元 片岡(塚越) 佐智子一千元
- 昭和五十年卒 田中仁八千元
- 令和二年卒 濱崎麻優二千元 小澤和音一千元
- 昭和五十一年卒 酒井(田中) 和子一万円 加藤恵子一千元
- 昭和五十四年卒 小島久典三千元
- 昭和五十六年卒 池田知聰・友澤瑞恵・桑山(遠藤) 智英子五千元
- 昭和五十九年卒 南(竹垣) 幸代二千元
- 昭和六十三年卒 佐々木(佐藤) 和江一万円 根岸和彦三千元 矢尾板裕一千元
- 平成三年卒 増田陽子二千元
- 平成七年卒 奥山隆三郎三千元
- 平成八年卒 阿部(黒岩) 春恵二千元
- 平成九年卒 伊藤賢治三千元
- 平成十八年卒 弘瀬友里加二千元
- 平成三十年卒 佐藤翔太八千元
- 令和二年卒 濱崎麻優二千元 小澤和音一千元

同窓会より

同窓会員の皆様へお願い

毎年、同窓会報の発行時期になりますと、会報の送付先変更や、送付停止希望等のご連絡のお電話をいただきます。しかしながら、高校には、同窓会事務の担当者が常駐していないため、高校職員が電話の対応を行い、後日、メモで同窓会事務局に内容が伝えられます。お手数ですが、何かと間違いの生じる場合もありますので、より正確さを期するためにも、今後、同窓会事務局へのご連絡につきましては、書面(郵便またはFAX)により下記宛てでご連絡をいただきますようご協力をお願いいたします。

住所変更はご連絡を

「真玉」をお送りしても宛先不明で返却されることがあります。

住所変更をされた方も事務局までご連絡をお願いいたします。なお、クラス会・同期会で同窓生の新住所を入手された方も事務局までご連絡をしてください。

本人に確認し、名簿を修正いたします。

◎寄稿のお願い!

同窓会にご意見や、クラス会・同期会・ご友人の集まり等、近況をお寄せ下さい。12月末日迄にお願いいたします。下記ファックス、郵送にてお願いいたします。

○郵送先住所
〒210-0806
川崎市川崎区中島3-3-1
川崎市立川崎高等学校 同窓会事務局 宛
○FAX 044-211-8295

母校7オト散歩



グラウンドより校舎を見る



情報処理室

安田 三三子先生
令和三年十月五日
ご逝去
昭和二十八年五月
ご逝去
平成三年三月迄 家庭科

玉井 謙先生
令和三年三月
ご逝去
昭和四十五年四月
ご逝去
平成十五年三月迄 定時制 国語科

山田 高裕先生
令和三年十一月七日
ご逝去
平成三十年四月
ご逝去
令和三年十一月迄 定時制 社会科

先生方の異動

令和三年三月付

退職
山崎舞藤佳先生 地歴公民科
水村 麻紀先生 数学科
長島 智子先生 数学科
宮澤 勇樹先生 業務
高井 健次先生 校長

ご着任
矢敷 敦史先生 数学科
相馬虎之先生 地歴公民科
伊藤 俊希先生 数学科
長野 千裕先生 国語科
角口 剛先生 英語科
五十嵐豊和先生 業務
田中 勝彦先生 業務
笹倉 樹先生 業務

橋高校へ
中村弘晃先生 地歴公民科
幸高校へ
村井 達也先生 数学科
川崎総合科学高校へ
令和三年三月付

市川高の同窓会のお手伝いを会長の中島さんに頼まれ、同窓会と聞いて楽しかったので、軽い気持ちで引越した。話し合いをしてきた時でも、「真玉を休刊」という言葉が、誰の口からも出なく、新聞にするための考えや、意見が出るたびに、「真玉」を繋げようとする思いや、同窓生に届けようとする熱意やチームワークがありました。

母校には百十年、「真玉」には七十年の積み重ねがあります。繋げる必要があると思います。それは、私にとっては身近に感じるものです。参加して私は良かったと思いましたが、私も時には意見が言えるように頑張りたい。

平成十二年卒 河野 朋子
四面担当 野村 智
伊藤三子代

令和2年度 事業報告

4月6日 入学式 新型コロナウイルス感染症予防のため め参列見合わせ	1月13日 真玉編集会議(9名出席)	25日 真玉編集会議(9名出席)	28日 真玉編集会議(8名出席)
4月13日 会計監査・役員会 コロナ感染予防のため三役で執行	2月1日 真玉校正(9名出席)	3月1日 真玉68号発行(約11,200通配布)	3月16日 新入会員(卒業生クラス代表)に紙面でお知らせ
4月29日 総会中止のため会場待機	5月~ 名簿資料整理と原簿整理	8月17日 役員会(10名出席)	9月11日 体育祭(参加見合わせ)
5月~ 名簿資料整理と原簿整理	8月17日 役員会(10名出席)	9月11日 体育祭(参加見合わせ)	9月12日 神無祭(参加見合わせ)
8月17日 役員会(10名出席)	9月11日 体育祭(参加見合わせ)	9月12日 神無祭(参加見合わせ)	10月12日 役員会(12名出席)
9月11日 体育祭(参加見合わせ)	9月12日 神無祭(参加見合わせ)	10月12日 役員会(12名出席)	12月14日 真玉編集会議(10名出席)
10月12日 役員会(12名出席)	12月14日 真玉編集会議(10名出席)	1月13日 真玉編集会議(9名出席)	25日 真玉編集会議(9名出席)
12月14日 真玉編集会議(10名出席)		28日 真玉編集会議(8名出席)	2月1日 真玉校正(9名出席)
		3月1日 真玉68号発行(約11,200通配布)	3月16日 新入会員(卒業生クラス代表)に紙面でお知らせ
		3月17日 卒業式参列見合わせ	真玉・新入会員名簿(令和2年卒業生配布)

令和2年度 通常会計決算報告

3月31日現在

収入の部	項目	予算額	決算額	差引残額	摘要
収入の部	繰越金	870,637	870,637	0	令和元年度より
	会費	1,959,000	1,961,750	2,750	250円×7,847人
	寄付金	600,000	652,100	52,100	寄付金
	普通預金利息	10	7	-3	銀行利息
	雑収入	10,000	4,700	-5,300	名簿販売
	合計	3,439,647	3,489,194	49,547	
支出の部	真玉発行費	1,700,000	1,598,646	101,354	真玉68号印刷・送料・他
	総会費	250,000	0	250,000	
	印刷費	100,000	66,710	33,290	新入会員名簿
	会議費	80,000	35,139	44,861	役員会・幹事会・会議費
	通信費	50,000	11,038	38,962	はがき・切手・他
	交通費	150,000	70,000	80,000	役員・幹事・交通費
	備品	30,000	0	30,000	
	ホームページ管理費	10,000	8,004	1,996	インターネット使用料
	消耗品費	20,000	24,886	-4,886	文具費・他
	人件費	400,000	349,000	51,000	事務手当
	生徒会活動費	20,000	20,000	0	神無祭補助金
	神無祭費	30,000	0	30,000	
	雑費	60,000	60,000	0	入学祝・体育祭祝・卒業祝金
	予備費	539,647	0	539,647	
	合計	3,439,647	2,243,423	1,196,224	

3,489,194 - 2,243,423 = 1,245,771 差引残額 1,245,771円は次年度に繰り越します。

以上、令和2年度通常会計決算報告をいたします。
令和3年4月19日 川崎市立川崎高等学校同窓会

会長 島内 澤 光義 枝雄 恵
中竹 友 瑞 子
同 友 地 美 恵 子
寺 笹 沼 眺

監査の結果、適正であることを認めます。
令和3年4月19日 川崎市立川崎高等学校同窓会
会計監査 同 寺 笹 沼 眺

実際に役員会に参加して思ったのは、同窓会役員の方々が「真玉」に対して愛情を持っていることです。例えば、コロナ禍で行動が制限されている中、集まるのも難しい時期に、どのような記事も「真玉」に掲載するかと、話し合いをしてきた時でも、「真玉を休刊」という言葉が、誰の口からも出なく、新聞にするための考えや、意見が出るたびに、「真玉」を繋げようとする思いや、同窓生に届けようとする熱意やチームワークがありました。

母校には百十年、「真玉」には七十年の積み重ねがあります。繋げる必要があると思います。それは、私にとっては身近に感じるものです。参加して私は良かったと思いましたが、私も時には意見が言えるように頑張りたい。

平成十二年卒 河野 朋子
四面担当 野村 智
伊藤三子代